

はしご車、タイへ出発

公益財団法人「茨城国際親善厚生財団（IIFF）」が宇都宮市消防本部から譲り受け、メーサイ市に贈るはしご車が21日、城西病院を出発しました。

このはしご車は、1994年製造で、20年間にわたり宇都宮市南消防署築下分署で活躍した車両です。シグマ式と呼ばれるはしご車で、Z型に折りたたまれているはしごを伸ばして救助や消化作業をするために、電線などの障害物を避けやすいという優れた特徴を持っています。

メーサイ市からは8月に2人の消防職員が来日し、約1カ月にわたって日本の消防体験やはしご車の操縦訓練を行いました。

はしご車は横浜港で船積みされ、26日にタイに向けて出航。11月6日ごろにバンコクの南130キロに位置するレムチャバン港に到着を予定。日本で研修した消防職員が陸路、メーサイ市まで運転し、11月13日ころには到着する予定とあります。

平成26年10月22日

